

建設産業人材確保・
育成に関する協議会

180人参加し心得学ぶ

新入社員研修会開催



青柳会長

建設産業界に2017年度に入職した新入社員への研修会（主催＝建設産業人材確保・育成に関する協議会、協力＝群馬県建設業協会、東日本建設業保証群馬支店）が12日、前橋市内の群馬建設会館で行われた。14年度から実施しており、17年度は群馬県建設業協会から46社、専門工事業団体6団体から22社の計68社、182人が参加した。開会后、群馬県建設業協会の青柳剛会長は「入



フレッシュな180人の研修が行われた

職してから早い時期の研修こそが重要で同業他社の人たちとコミュニケーションをとることを願って

ります」と激励した。

講義は、建設経営サードビスの福田義浩氏を講師とした「建設業の基礎知識」、行政書士でありファイナンシャルプランナーの飯塚重紀氏による「社会人として知っておくべき「マナーの基本」、イメージアップコンサルタントの田中アイ氏による「新入社員のスキルアップセミナー」が行われた。参加者も講師の紹介や昼食の準備など会の運営に携わり、社会人として活躍するための心得を学んだ。